

アイデアボックス

授業に音とリズムを

筑波大学附属中学校教諭

肥沼 則明

月一「音」と「リズム」の大切さ一ト

英語の学習を進める上で、音とリズムが重要な役割を果たすことは、もう疑う余地のないことでしょう。実際に授業を行っていても、音は生徒の学習意欲を喚起し、リズムは学習を手助けする効果があることがわかります。ですから、授業中のあらゆる活動場面においてこの2つを有効に使うことができれば、学習効果はかなり上がると考えられます。教科書の音声教材もこのあたりを十分に意識して作られていますが、それらを使わない場面では個々の教師が工夫することになります。

そこで、ここでは私が使っている小道具とその使い道を紹介します。

月一「音」の使い方一ト

これまでテープレコーダーとCDプレーヤーを使ってきましたが、今では編集も楽で一発再生のできるMDプレーヤーが中心です。

①「タイム・ボンマー」

メトロノーム、ジョーズの接近音、ウルトラセブンの怪獣爆発音を組み合わせたもの。時間内に緊張感をもって活動させられます。

②「エレクトリカル・パレード」

前奏の部分でD Jのように活動を紹介します、メインの始まりと共にヨーイドン！ ないときはケタちがいに活動が盛り上がります。

③「古畑ーコロombo」

毎時間行っている同名の活動（異文化紹介を含んだスピーチ活動）を行う際、「古畑任三郎」と「刑事コロombo」のテーマ曲を流して、独立したこの時間の雰囲気を作ります。

月一「リズム」の使い方一ト

私は手のひらサイズのソニー製「ドラムパッド」(注：製造中止)を使っていますが、シンセサイザーなら何でもかまいません。なければメトロノームを使う手もあります。

①単語の発音

単語の発音練習をする際に、リズムマシンを使って言わせると、アクセントの位置を意識して発音できるようになります。また、大きな声でそろって発音するようになります。

②新文型の口頭練習

新しく習った文型はなかなかうまく言えないものです。特に文が長くなると覚えるのが大変です。そのような時、リズムマシンを使って全体から個人へという流れで練習させると、不思議と楽に言えるようになります。

③本文の音読練習

すべての英文を同じリズムで読ませることには無理がありますが、どうもうまく読めないという時にリズムマシンを使うと、とてもスムーズに音読できるようになります。

月一日々実践の効果一ト

これらの音とリズムの効果のほどは、何かのトラブルでそれらを使えなかった時にはっきりとわかります。例えば、リズムマシンが電池切れで使えないと、リピートする生徒の音量は半減します。また、「古畑ーコロombo」でMDプレーヤーが不調で使えなかった時は、日頃の後ろ盾を急に奪われたような不安感に襲われ、活動に勢いがなくなりました。

このように、音とリズムを効果的に使うと、テンポとメリハリの効いた授業を行うことができ、生徒を飽きさせずに、しかも授業の効率もアップできます。「最近どうも生徒のノリが悪くなってきたな」と感じる事があったら、ぜひ授業の「音」と「リズム」に工夫を加えてみてください。

なお、この他にも下記のサイトで授業のアイデアを公開しています。ご参照ください。

<http://village.infoweb.or.jp/~koinuma>